

# くるさきレター 笑顔



鳴門市 黒崎小学校 校長 猪子 研司  
No.8 令和3年12月7日(火)

## 新しい年に向かって

朝晩の凜とした空気身に引き締まる季節となりました。早いもので令和3年も残すところあとわずかになりました。どの子も「今年の始めに自分で決めた目標が達成できた」と言えるよう、教職員一同、より一層子どもたちに寄り添い、励ましていきたいと思っております。

さて、12月24日から始まる冬休みは、日本古来の行事に多く出会う時期です。マナーデザイナーとして著名な岩下宣子氏の「四季の暮らしの心得帖」に由来等が書かれていましたのでご紹介します。大晦日の除夜の鐘の百八回は、仏教思想に基づく人間の煩惱の数を表しているといわれていますが、他にも暦にある月の数12と節気の数24、候の数72を足したものという説や「4×9(四苦)」と「8×9(八苦)」を足すと百八になることから四苦八苦を取り除くという説もあり、鐘の音に人間の苦しみや煩惱を断ち切る力があると考えられていました。また、正月は、一年の大切な節目であり、新しい一年の豊作を願って準備されてきました。お正月飾りは、縁起を担ぎ29日(二重苦)と31日(一夜飾り)を避けて飾りました。初夢に縁起が良いとされる「一富士、二鷹、三茄子」は、諸説ありますが、「富士=無事、鷹=高い、茄子=成す」に掛けたものといわれています。悪い夢を見たときは、南天の木をゆすると「難が転ずる」ため、悪事が祓われるといわれていました。季節の行事や風習には、さまざまな思いがあり、日本人が培ってきた人としての「生き方」が表されていると感じます。学校も今年一年間を振り返るとともに、夢や願いを持って新年を迎えられるよう準備してまいりたいと思います。保護者の皆様・地域の皆様、来年もどうぞよろしくお願いたします。よいお年をお迎えください。

## 学校行事等について

感染症対策として見送っていた行事等が、秋～冬にかけて少しずつ実施されています。各学年の行事等について、各家庭でご協力をいただきありがとうございます。11月には2年ぶりの遠足を終えました。一方で、感染症対策などの考え方から、行事等が縮小傾向にあることも事実です。これまで各学年が学校行事等を積み重ねることによって身に付けてきた力を、これからどのように伸ばしていくことができるのか、改めて考えていかなければならないと感じています。世の中の状況が違えば学校としてできることも異なるため、これまでの考え方を見直しながら新しいカリキュラムを作っていくことが大切だと考えます。これまで学校行事等で育ててきた力を、現在の黒崎小学校のカリキュラムの中でどのように育てていくのか、教職員が協力して知恵を出し合いながら取り組んでいきたいと思っております。学年によっては、行事が慌ただしく続く時期もあります。各学年、各クラスでの様々な取組を進めていきながら、子どもたち一人ひとりの見取りを丁寧に行っていきたいと思っております。

## 授業参観ありがとうございました

嬉しそう？照れくさそう？緊張している？張り切っている？様々な表情が見えた授業参観。お忙しい中お越しいただき、ありがとうございました。11月17日（水）は、本年度初めての授業参観でした。お子様の様子はいかがでしたか。こうして徐々に様々な活動や行事を取り戻すことができつつあることを、素直に喜びたいと思います。次回参観日は、2月9日（水）の予定です。新型コロナウイルス感染症が引き続き落ち着きを見せ、予定どおり実施することができることを切に願っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 楽しかった修学旅行



12月2日（木）・13日（金）、6年生が修学旅行に行ってきました。新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着きを見せる中、感染症対策を講じつつ、1泊2日の旅を満喫することができました。1日目は、高知城、かつお船火蔵、坂本龍馬記念館の見学をしました。2日目は、レオマワールドに行ってきました。子どもたちは、ルールやマナーを守りながら、友だちと協力しながら活動を楽しむことができました。さすがです。

心に残ったものは一人一人違ったかもしれませんが、仲間と過ごした時間は全員にとって大切なものになったと思います。2日間で感じたことや学んだことを、今後の学校生活に生かしてほしいと思います。

## もうすぐ冬休み

～ 大人から 子どもたちへ いっぱい 話しかけてください ～

充実した冬休みになるよう、お子様といっぱいお話をさせていただきたいと思います。冬休みは、親せきや地域の方々と出会う機会もあるかもしれません。お正月には新年のあいさつをする機会もあります。そんな折、自分から進んで相手の目を見て、はっきりと、心を込めてあいさつができると素晴らしいと思います。

また、冬休みは家族と一緒に過ごす時間も多くなると思います。ただ、一緒に過ごしていても、子どもだけでゲームをして遊んでいるというのでは、少し残念な気がします。大人の方から意識して子どもたちに話しかけ、いつもより長く、家庭での話を増やしていただければありがたいです。大掃除を、お子様と一緒に話をしながらするのもいいですね。どの子も「自分を認めてほしい」と願っています。それには家族で話をすることが一番だと思います。私も冬休みには家族といっぱい話をしたいなあと思っています。

